

鬼火焚き「健康祈願」

1月12日(日)に、いきいきワクワク塾主催で鬼火焚きを実施しました。約150名の児童生徒、保護者、地域住民が学校に集まりました。子年生まれの代表児童が着火しました。

その後は、残り火を利用して、各自持参した餅やマシュマロを竹の先に挟んで焼きました。子どもたちは、焼いた餅をおいしそうに食べていました。

今年1年、西始良校区の皆様が健康で過ごせることを願っています。



県「学校合唱祭」出演(合唱クラブ)



1月25日(土)宝山ホールにて「鹿児島県学校合唱祭」が開かれ、本校の合唱クラブが出演しました。昨年に引き続き、3回目の出演になります。「シーラカンスを取りにいこう」「みんな色の世界」の2曲を全員が心を一つにして歌い、会場からは大きな拍手が送られました。審査員の先生から「歌うことが好きということが皆さんの姿からよく伝わり、一人一人が思い切りよく演奏に臨んでいるところがとても素晴らしい。」「リズムの

難しい曲をよく歌いこなし、リズムに乗って生き生きと歌っていて、こちらも楽しくなってきました。」「身体いっぱい表現した合唱すてきでした」等の賞賛の講評がありました。子どもたちにも喜びと安堵の表情、達成感がありました。これからも「歌声いっぱい」の西始良小にしていきましょう。

学力向上



本校では、朝の活動で「学びタイム」やB校時(時間短縮校時)の放課後に「学力向上対策」を実施しています。全国学力テスト等を意識した国語の読み取り問題や算数の発展問題などを中心に継続して取り組み、学力の向上を図っています。

学級担任の他に、管理職、専科、養護教諭、特別支援教育支援員も加わり、複数指導体制で行っています。限られた時間ですが、今後も子どもたちの集中力及び学力の向上を目指します。

3月行事予定

日	曜	行事等
3/2~	月	学力定着旬間(学期末テスト)
3/5	木	あいあい号
3/6	金	お別れ遠足 6年生を送る会
3/11	水	図書貸出最終日
3/17	火	卒業式予行
3/19	木	重富中自転車講習会(6年)
3/22	日	校区歩こう会
3/23	月	卒業式会場設営
3/24	火	第36回卒業式
3/25	水	修了式
3/27	金	辞任式

がんばっています「西始良っ子」表彰



第10回 福祉作文コンクール 最優秀賞 6年 栄 ののか

※ あいら福祉まつり 3月21日(土)13:10~始良公民館で表彰式・福祉作文発表

地域が育む「あいらっ子」あいさつ運動標語 入選 2年 鈴江 勇太
「あいさつは なかよし広がる あいことば」



ウエスト フレッシュウィンド

(西始良の爽やかな風)

始良市立西始良小学校

如月(2月): 次年度へ活かすまとめを

校長 高瀬 薫

2月に入り早くも2週間が経ち、本年度も残すところ1か月半となりました。学校ではまとめをする頃となり、各学級で一年の学習の締めくくりを行っています。よくできたところ、改善しなければならないところそれぞれあると思いますので、次年度に活かすことができるようにしていきたいと考えます。

さて、2月7日に学校評議員会を開催しました。委員の皆様には授業参観の中で、子どもたちの学習の様子を見ていただきました。低学年から高学年まで集中して授業に取り組んでいることやしっかりとあいさつができるなど、概ね褒めていただきました。今の状況を続けていけば、西始良小学校の子どもたちは学習面・体育面で大きな成果を残すようになるだろうと確信しました。一つだけ指摘があったのが「地域における子どもたちのあいさつ」です。立ち止まって気持ちよいあいさつができる子どもは、まだまだ多くないようです。学校では「SSTあいさつ運動」を進めています。スタンダードなあいさつとして、S(スマイル) S(先手) T(立ち止まって) これを地域一体となり明るいあいさつ運動として実践できたらと考えています。

名前を呼ぶということ

私は子どもたちの名前を覚え、声掛けをしています。朝のあいさつも、一人一人を励ます気持ちから「〇〇さん、おはよう。」と言います。6年生の坂元茂葵くんは「校長先生おはようございます。」と言ってくれます。私が赴任してから2年間続けています。私は、坂元くんから「今日も頑張ろう。」という思いになるよう励まされているのです。

かつて、私は県下一周駅伝川薩チームのスタッフとして帯同したことがあります。ある日、監督車に乗り、選手の後ろから車窓越しに応援しました。ある区間で息も絶え絶えにやっとの思いで棒を次の選手に渡す選手がいました。監督はスピーカーを通して「ご苦労さん。ご苦労さん。」と声を掛けましたが、倒れ込んで返事をする事が出来ません。その時、監督が「健太、ご苦労さん。よく頑張った。」と名前を付けて声を掛けたのです。すると、倒れていた選手が右拳を振り上げて、監督の労いの言葉に応えたのです。名前を呼ぶことは、こんなに力を与えるものかと感動したことを覚えています。それ以来、私は子どもたちの名前を覚え声掛けをしています。

さて、他にも名前付けあいさつを実践できる子どもたちがいます。坂元くんがあいさつをする様子を見ながら、「これはいいあいさつだな。」と感じているのでしょ。後輩の中に後継ぎが出来たような心強い思いです。



総合型地域スポーツクラブ
(コミュニティスポーツクラブ)
人々が、身近な地域でスポーツは、親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多目的)、初心者からトップレベルまで、それぞれ志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。
鹿児島県では、地域の住民自ら主体となつて運営するスポーツクラブの「こと」を「コミュニティスポーツクラブ」と呼んでいます。本県には、三〇市町村に五十三のスポーツクラブがあり、国や県も育成に力を入れています。今後は、「コミュニティスポーツクラブ」が、学校をはじめとする地域活動の担い手として活躍を担っていき、期待されています。
始良市には、「NPO法人始良スポーツクラブ」があります。高年齢者から子どもまで幅広い世代に、応じた活動が目標です。例えば、教室、一般向けでは「バトミントン」や「社交ダンス」など。小学生向けでは「チアリーディング」や「陸上教室」など。多彩な内容で、市の広報誌などにも掲載されていますので注目してください。

